

「豊かな心」の育成のために着目する資質・能力

思いやりあふれる行動により仲間をつくる力

目指す姿

1.2年生（低プロ）で目指す姿

「あったかハート」の取組では、元気に挨拶したり、正しく行動したりしようとする姿。「異学年交流」の取組では、ふれあいを通して交流の楽しさを味わう姿。

3.4年生（中プロ）で目指す姿

「あったかハート」の取組では、相手意識をもち、自分から友達へ挨拶をしたり正しく行動したりしようとする姿。「異学年交流」の取組では、低学年を助けて高学年を支えるなど、集団の一員として協力し合う姿。

5.6年生（高プロ）で目指す姿

「あったかハート」の取組では、相手意識をもち、自ら進んで挨拶や正しい行いを実践し、より良い習慣を学校全体に広めようとする姿。「異学年交流」の取組では、全員の『楽しい』を引き出し、集団を引っ張り支える姿。

すずかけ学級で目指す姿

「あったかハート」の取組では、相手を意識して挨拶を返したり、正しく行動したりしながら身近な友達や先生と気持ちよく過ごそうとする姿。「異学年交流」の取組では、周りの友達や他学年と一緒に安心して活動し、役割を担ったり、決まった約束を守って活動に参加したりしようとする姿。

「あったかハート」の取組

（あいさつ/正しい行い/感謝の気持ちを大切に作る）

「相手を思う挨拶」の習慣化

- 目を見て、笑顔で、相手に元気を届けるような心の通い合いを学校全体の文化にしていく。
→学年ごとのあいさつ運動の実施。

「自分で考え、正しく判断する」力の育成

- きまりをみんなが楽しく過ごすための約束と捉え、誰もが安心して過ごせる環境づくりを目指す。

ことばを大切に、思いやりの心を育てる

- 「あったかハート」広げよう週間の設定。
→友達の思いやりの心に意識を向ける。

道徳教育・命に関する指導の充実

- 「いじめ防止対策推進法」に基づく組織的対応
- 道徳科における命の教育や指導、互いのよさを伝え合う場の設定

行事による取組

認め合いの中で「心を繋ぐ」

- 場に応じた礼儀を身に付け、自分を律する力を育成する。
- 互いの表現を認め合ったり、共に一つのものを創り出したりすることで、豊かな感性と温かな人間関係づくりを目指す。

「異学年交流」の取組

「思いやり」と「憧れ」の循環

- 上級生が下級生をリードする場面を意図的に設定し、互いの自己有用感を高める活動を推進。

役割を通じた自己有用感の育成

- たてわり活動などで教え合いや協力が必要な場面を作り、一人ひとりの自信を育む。

多様な視点で学ぶ集団づくり

- 発達段階の異なる他者との交流を通じ、相手の立場を理解した言葉がけや柔軟な対応力を養い、安心感をもって過ごせる環境づくりを目指す。

あいさつ/正しい行い/感謝の気持ちを大切にすることができたかどうかを0～100で表したメーターのこと。（各教室に掲示されている）

成果

- あったかハートや異学年交流の取組を通して、他学年に目を向けて、互いのよさを知るきっかけにもなっていた。高学年のリーダーシップを高めることができた。

課題

- あったかメーターの活用が少なかったため、生活のきまりを見直すきっかけとして生かしていきたい。
- リーダー会議を増やしていきたい。

今年度の具体的な取組

R7 成果と課題

検証方法

- 全国学力・学習状況調査や学校独自の調査の結果を活用。
- 札幌市によるいじめや悩みに関する調査とともに同様の内容の調査を2回実施。
- Google formによる子ども自身の振り返り。